2025年11月号

アイフレイル



お薬や健康に関するお悩みは、お気軽にケーアイ調剤薬局へご相談下さい。

「**アイフレイル**」という言葉を耳にしたことはあります か?「アイ (eye=目)」と「フレイル (frailty=虚 弱)」を組み合わせた言葉で、加齢に伴う目の機能の衰え や、そのリスクが高まっている状態を指します。

加齢に伴う目の変化に加え、紫外線、ブルーライト、乾 燥、生活習慣などの**外的ストレス**が加わることで、目の機 能はさらに低下しやすくなります。最初は「少し見えづら い」「目が疲れやすい」などの小さなサインしかないこと も少なくなく、そのサインをそのまま放置すると見え方の 低下が進み、回復が難しくなることもあります。



アイフレイル啓発公式サイト

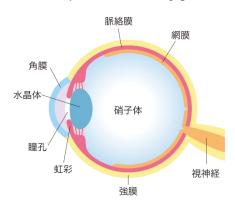
(https://www.eye-frail.jp/) では、右のアイ フレイルチェックシートや6つのセルフチェッ クツールが掲載されており、ご自身の目の健康状態を確認 することができます。



出典:アイフレイル啓発公式サイト https://www.eye-frail.jp

アイフレイルの主な原因

1. 加齢による目の変化



水晶体(ピントを合わせるレンズ)は年齢とともに弾力を失い、かたくなります。すると、ピントが合いにくなり、「老眼」でするようが起こりやすくなります。

網膜や視神経の働きも少しずつ低下します。明るさの 変化に対応しづらく、「まぶしさ」「暗い所で見にく い」と感じるようになります。

2. ドライアイ (涙の質・量の低下)



涙は目の表面を守る大切なバリアです。加齢やエアコン、パソコン・スマホの使用などで分泌量や質が変化すると、乾燥・かすみ・痛み・疲れを感じやすくなります。長時間スマホなどの画面を見る人は、**まばたきの減少**に

も注意しましょう。

3. 白内障・緑内障・加齢黄斑変性などの疾患

これらの疾患はアイフレイルの進行に関係しており、**定期的な眼科検査**で早期発見・進行予防することが大切です。

4. 紫外線・ブルーライトによる光ストレス

- 紫外線(UV)は長年浴び続けると水晶体や網膜にダメージを与え、白内障や加齢黄斑変性のリスクを高めます。
- ブルーライト(スマホ・PC・LED など)は網膜に負担をかけ、眼精疲労や睡眠の質低下を招きます。
 ※スマホなどの長時間使用時は、「20-20-20 ルール」(20 分ごとに 20 秒間、20 フィート(約6 m) 先を見る)を意識しましょう。

今日からできるアイケア習慣

バランスのとれた食事(抗酸化作用のあるビタミンA・C・E、 ルテイン、亜鉛を特に意識)



- 紫外線・ブルーライトから目を守る(帽子やサング ラスの着用・スマホ使用時などはこまめに休憩)
- 目を温めて血流を促す(蒸しタオルなどもおすすめ)
- 規則正しい生活と十分な睡眠
- 定期的な眼科受診